

入場
無料

申込
不要

企画展「木村久寿弥太日記の世界」記念行事

「木村久寿弥太日記を読む」

日時◆令和8年1月24日(土) 14時～16時30分

会場◆高知市立自由民権記念館（高知市桟橋通4-14-3）
1階 民権ホール

◇記念講演

演題：「木村久寿弥太と大正・昭和戦前期の日本」

講師：奈良岡聰智氏(京都大学大学院法学研究科教授)

◇報告

村中大樹氏「日記翻刻作業の概要」

今井章博氏「木村日記による関東大震災」

門田由紀氏「別荘生活」

小林和香氏「待合・料亭での会合」

木村久寿弥太は「三菱の総理大臣」と言われた財界の重鎮です。この日記は、三菱グループの動き、政財界人や軍人との交流、社会的事件など多彩な内容が記され、日本近代政治経済史の貴重な資料になるもので、本格的な研究が待たれるものです。当館ではその研究に資するため、画像と翻刻をインターネットにて公開いたしました。

記念行事では日記を多角的に捉えるため、記念講演に奈良岡聰智氏（京都大学大学院法学研究科教授）を迎え、日記の意義についてお話しいただきます。そして、一年をかけて翻刻に取り組んだメンバーから、4人の方にそれぞれ印象的であった点を報告していただきます。

この記念行事が、これから「木村久寿弥太日記」研究のスタートになることを期待しています。

主 催◆高知近代史研究会
高知市立自由民権記念館
連絡先◆高知近代史研究会事務局(自由民権記念館2階学芸)
TEL:088-832-7277
Mail:koc-052000@city.kochi.lg.jp

◆オンライン配信
本研究会はZOOM配信を行います。オンラインでの聴講を御希望の方は右記の二次元コード、または下記URLよりお申込みください。
<https://x.gd/AmqtQ>



申込〆切：
1月24日(土)正午